

検証シートの記載例

積極戦略 1 しごとで活力を「つくる」

(ア) 総合戦略で掲げる基本目標等をそのまま記載している。

検証シート (R元年度)

(イ) 基本目標に掲げる数値目標の令和元年度実績として直近で把握できる値を記載している。

〔基本目標〕 つくる

本市が直面している転出超過を解消していく上では、若い世代を中心に東京都や福岡県などへ向かう流れに歯止めをかけることが重要であり、そのためには、域内に魅力的で安定した雇用の場を確保していかなければなりません。地域産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地の推進などに取り組むことにより、新たな雇用の場が創出されるとともに、若い世代や、潜在的な労働力である女性や高齢者などの活躍をあわせて推進することにより、地域における雇用機会の拡大にもつながります。そのような安定した雇用を生み出し、地域の活力を維持するまちの創造を目指し、しごとで活力を「つくる」取組を展開します。

〔基本的方向〕

生産性の向上や商品・サービス等の高付加価値化、国内外への販路拡大を図るため、新事業・新産業の創出や事業経営への支援、人材の確保などに取り組むほか、商業・サービス業、ものづくり産業、農林水産業など、それぞれの産業の活性化を図り、地域産業の競争力強化を進めます。また、若い世代の雇用拡大が期待される創業・第二創業への支援、企業立地の推進や、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組み、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めます。

指標	基準値	目標値 (R元)	単位	参考値 (R元)	対目標値
事業所数	(H26) 28,317	29,500	事業所	27,279 *	—
従業者数	(H26) 278,415	283,000	人	274,569 *	—

注)*は、当該年度の実績値でなく、参考値を示している。(以下同じ。)

<概要>

(1) 評価 (KPI)

- a:十分に達成されている
- b:概ね達成されている
- c:あまり達成されていない

(2) 検証会議の意見

- A:引き続き、現状の取組を推進すべきである
- B:全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
- C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

〔主な施策及び重要業績評価指標(KPI)〕

(ウ) 主な施策とそのKPIをそのまま記載している。

(エ) R元年度までのKPIの進捗と評価を記載している。

主な施策の名称	No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)
(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)								
①新事業・新産業創出の支援	1	新たなビジネス展開に取り組む事業者数	(H26) 8	105	事業者 (5年間)	110	104.8%	c
		本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率	(H28) 36	60	%	42	25.0%	

主な取組内容	具体的な取組の内容 (R元)
健康・環境分野における企業間・産学間等の事業化支援	新サービス等の創出に向けた取組に対し助成するとともに、ヘルスケア分野のビジネスアイデアの創出とその事業化支援(事業化支援:4者×4回)、経済産業省「健康寿命延伸産業創出推進事業」を活用したプロジェクトの支援のほか、産学連携のきっかけづくりを目的としたマッチングイベント(8回)を実施した。これらの支援の結果、焼酎粕を活用した飼料開発を目的とした大学との共同研究や、鹿児島産「健康食」の開発を支援する機能性表示食品開発支援サービスの創出プロジェクトなどに繋がった。 また、補助金を活用して事業化に至った後も、事業者の希望に応じて経営面でのアドバイスを受けることができるように、産業振興アドバイザーによる継続的なサポート体制を確保している。 ヘルスケア分野:会員13者増、助成2件。 新事業展開分野(環境分野を含む):会員11者増、助成1件
デザイン等のクリエイティブ産業の育成支援と集積促進	「かごしまデザインアワード」や人材育成セミナー等の開催などを通じて、デザイナー等の人材育成や製品等の競争力強化を図ったほか、デザイン・コンテンツ業の企業立地にも取り組んだ。 「かごしまデザインアワード2019」応募件数:478件、セミナー参加者:60人
市が保有する統計・地理情報等のオープンデータ化の推進	本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充した。(30年度末64件⇒R元年度末68件) 市民のひろば等での周知広報に努めた。

KPIや具体的な取組の進捗を踏まえた施策全体の評価

(オ) 主な取組内容とR元年度の取組状況を記載している。

施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)	検証会議の意見
KPIの進捗については、「本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率」が目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、開発段階のものが未だ事業化されていないためであると考えている。 R元年度の取組状況としては、ヘルスケアなどの分野における事業化支援(事業化後のサポートを含む)や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。	専門家による事業化支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていく。 オープンデータについては、利用者の意見・要望を踏まえたうえで、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「新たなビジネス展開に取り組む事業者数」については、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、事業化率の進捗が伸び悩んでおり、新事業・新産業創出の支援に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新しい生活様式に対応した事業化の取組等も含めて、事業者に対する積極的なサポートに努めるべきである。

(カ) R元年度までの取組状況の総括を記載している。

(キ) R2年度以降の取組の方向性を記載している。

(ク) 当該施策に対する検証会議の意見とその評価を記載している。